

4. 情報通信工学課程 専門教育科目の履修の流れ

専門学士力と到達目標	
工学基礎	数学や物理の基礎知識などを身に付け、情報通信工学の知識修得に応用することができる。
情報ネットワーク	コンピュータハードウェア、コンピュータネットワークに関する基礎知識を身に付け、デジタル信号処理、情報理論、セキュリティなどの理解に応用することができる。
情報プログラミング	基本的なアルゴリズム、データ構造に関する基礎知識を身に付け、基本的なプログラミングができるようになり、各種アプリケーションや組み込みシステムのプログラミングの理解に応用することができる。
通信システム	通信システムの基礎知識を身に付け、光通信システム、無線通信システムなど各種通信システムの理解に応用することができる。
通信デバイス	電気回路、電子回路の基礎知識を身に付け、光ファイバ、レーザ、アンテナなど各種通信デバイスの理解に応用することができる。
情報通信工学総合	情報通信工学に関する基礎実験や卒業研修を通じて、情報通信工学に関する課題を解決する能力を身に付け、様々な課題への対処に応用することができる。

